



# 2016年3月期 第1四半期決算の概要

1 契約の状況	1 ページ	4 資産運用の状況	6 ページ
2 損益の状況	4 ページ	5 基礎利益の状況	8 ページ
3 資産・負債の状況	5 ページ	6 健全性の状況	9 ページ

株式会社 かんぽ生命保険  
2015年8月7日

※1 データは、いずれも単体ベースのものです。  
※2 件数及び金額は、切り捨てています。  
※3 本資料は、一般公衆への情報提供を目的とするものであり、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

# 1 契約の状況①

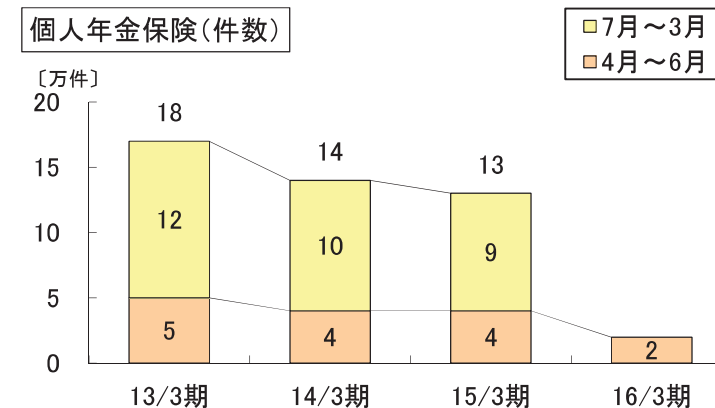
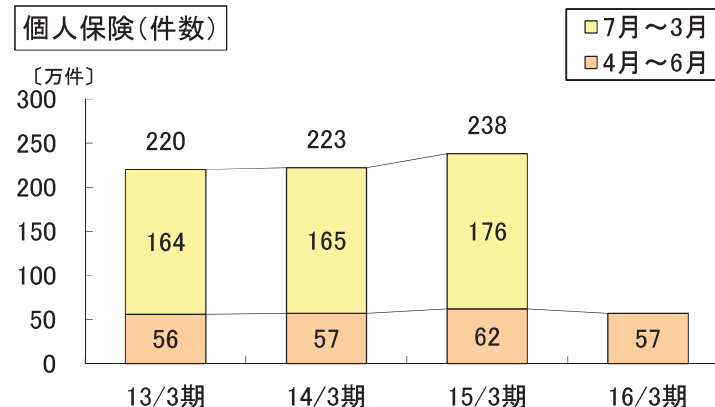
- 個人保険の新契約は、57万件、金額1兆7,201億円
- 個人年金保険の新契約は、2万件、金額722億円

## < 新契約の内訳 >

	2016/3期 第1四半期		2015/3期 第1四半期	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	57 万件	1 兆 7,201 億円	62 万件	1 兆 7,707 億円
終身	14 万件	5,297 億円	13 万件	4,743 億円
養老	32 万件	9,586 億円	28 万件	8,978 億円
学資	10 万件	2,315 億円	19 万件	3,971 億円
個人年金保険	2 万件	722 億円	4 万件	1,549 億円

- ※1 主な項目について掲載しております。  
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。  
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。  
 ※4 「学資」欄は、2014年4月に発売した学資保険(はじめのかんぽ)を計上しております。  
 ※5 件数及び金額については、前期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

## < 新契約の推移 >



# 1 契約の状況②

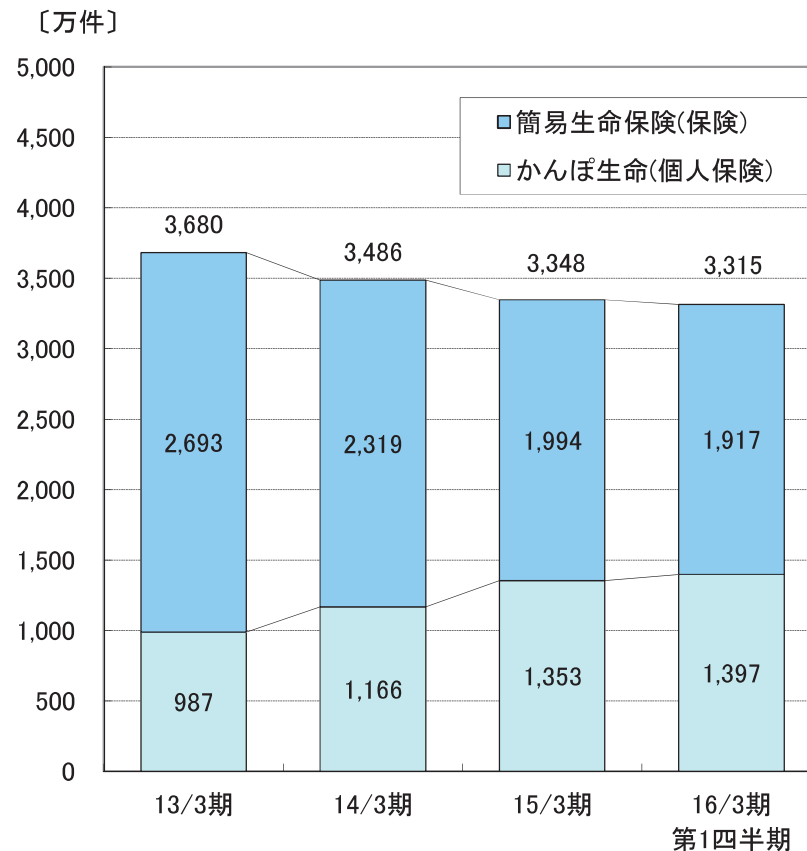
- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,397万件、金額40兆4千億円、個人年金保険133万件、金額3兆6千億円
- 個人保険と簡易生命保険契約の保険を合計した保有契約は、3,315万件

## < かんぽ生命の保有契約の内訳 >

	2016/3期 第1四半期		2015/3期 期末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,397 万件	40 兆 4,180 億円	1,353 万件	39 兆 1,590 億円
終身	337 万件	11 兆 1,678 億円	325 万件	10 兆 7,604 億円
養老	856 万件	25 兆 6,564 億円	833 万件	25 兆 500 億円
学資	203 万件	3 兆 5,759 億円	193 万件	3 兆 3,308 億円
個人年金保険	133 万件	3 兆 6,011 億円	131 万件	3 兆 6,159 億円

- ※1 主な項目について掲載しております。  
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。  
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金額を合計したものです。  
 ※4 件数及び金額については、前期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

## < 保有契約の推移 >



# 1 契約の状況③

- 新契約の年換算保険料は、個人保険1,194億円、個人年金保険334億円
- 保有契約の年換算保険料は、個人保険2兆6,130億円、個人年金保険6,662億円

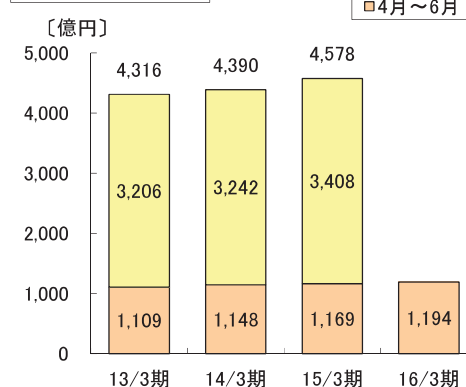
## < 年換算保険料の内訳 >

## < 年換算保険料の推移 >

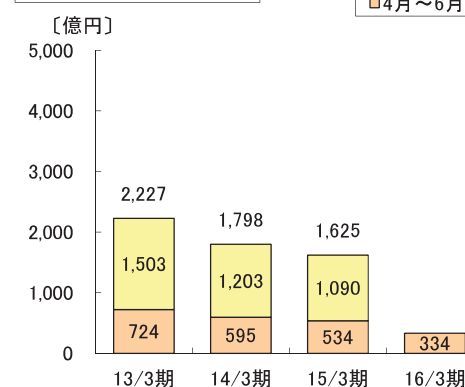
### 《新契約》

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期
個人保険	1,194 億円	1,169 億円
個人年金保険	334 億円	534 億円

### 新契約(個人保険)



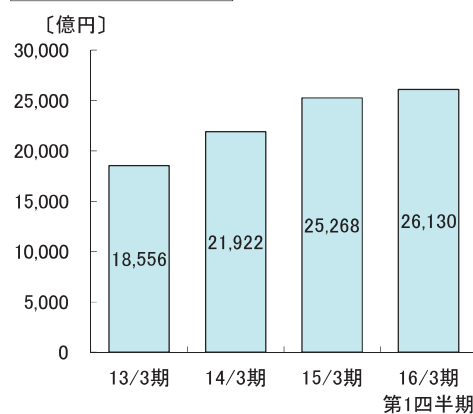
### 新契約(個人年金保険)



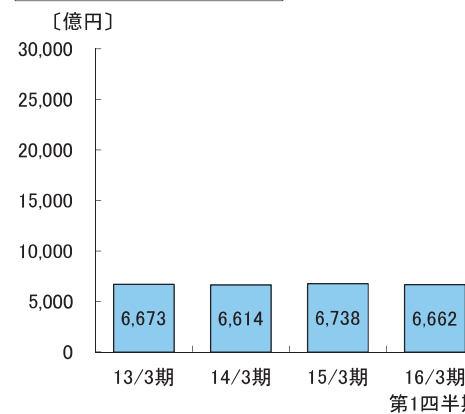
### 《保有契約》

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末
個人保険	2 兆 6,130 億円	2 兆 5,268 億円
個人年金保険	6,662 億円	6,738 億円

### 保有契約(個人保険)



### 保有契約(個人年金保険)



- ※1 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額)。  
 ※2 保有契約はかんぽ生命の保有契約であり、簡易生命保険契約は含んでおりません。  
 ※3 年換算保険料については、前期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

## 2 損益の状況

■ 経常利益は1,076億円、四半期純利益は232億円

### < 損益計算書の概要 >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	増減	2015/3期
経常収益	24,731	25,927	△ 1,195	101,692
保険料等収入	13,515	15,119	△ 1,604	59,567
資産運用収益 (注1)	3,446	3,746	△ 300	14,607
責任準備金戻入額	7,528	6,254	1,273	26,328
経常費用	23,655	24,619	△ 964	96,760
保険金等支払金	22,107	23,058	△ 950	90,595
資産運用費用	24	62	△ 38	109
事業費	1,275	1,248	26	5,124
経常利益	1,076	1,307	△ 231	4,931
特別損益 (注2)	△ 190	△ 275	84	△ 993
契約者配当準備金繰入額	563	665	△ 101	2,007
税引前四半期純利益	322	367	△ 44	1,930
法人税等合計	89	113	△ 24	1,113
四半期純利益	232	253	△ 20	817

〔単位：億円〕  
※ 主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入  
3,294億円等です。

注2 特別損益は、価格変動準備金繰入額  
192億円等です。

### 3 資産・負債の状況

■ 総資産は84.5兆円、純資産は1.9兆円

#### < 貸借対照表の概要 >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末	増減
資産	845,413	849,119	△ 3,706
現金及び預貯金	10,835	22,059	△ 11,224
金銭の信託	16,154	14,349	1,804
有価証券	669,679	662,772	6,906
国債	478,725	480,864	△ 2,138
地方債	95,143	95,558	△ 414
社債	63,740	66,524	△ 2,784
外国証券	31,558	19,814	11,743
その他の証券	500	—	500
貸付金 (注1)	99,492	99,773	△ 281
繰延税金資産	5,757	5,482	275
負債及び純資産	845,413	849,119	△ 3,706
負債	825,543	829,428	△ 3,884
保険契約準備金 (注2)	771,022	779,056	△ 8,034
価格変動準備金	7,313	7,121	192
純資産	19,870	19,691	178
株主資本合計 (注3)	14,098	14,110	△ 12
評価・換算差額等合計	5,772	5,580	191

[単位:億円]

※ 主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 9兆647億円、一般貸付 8,057億円、保険約款貸付 787億円です。

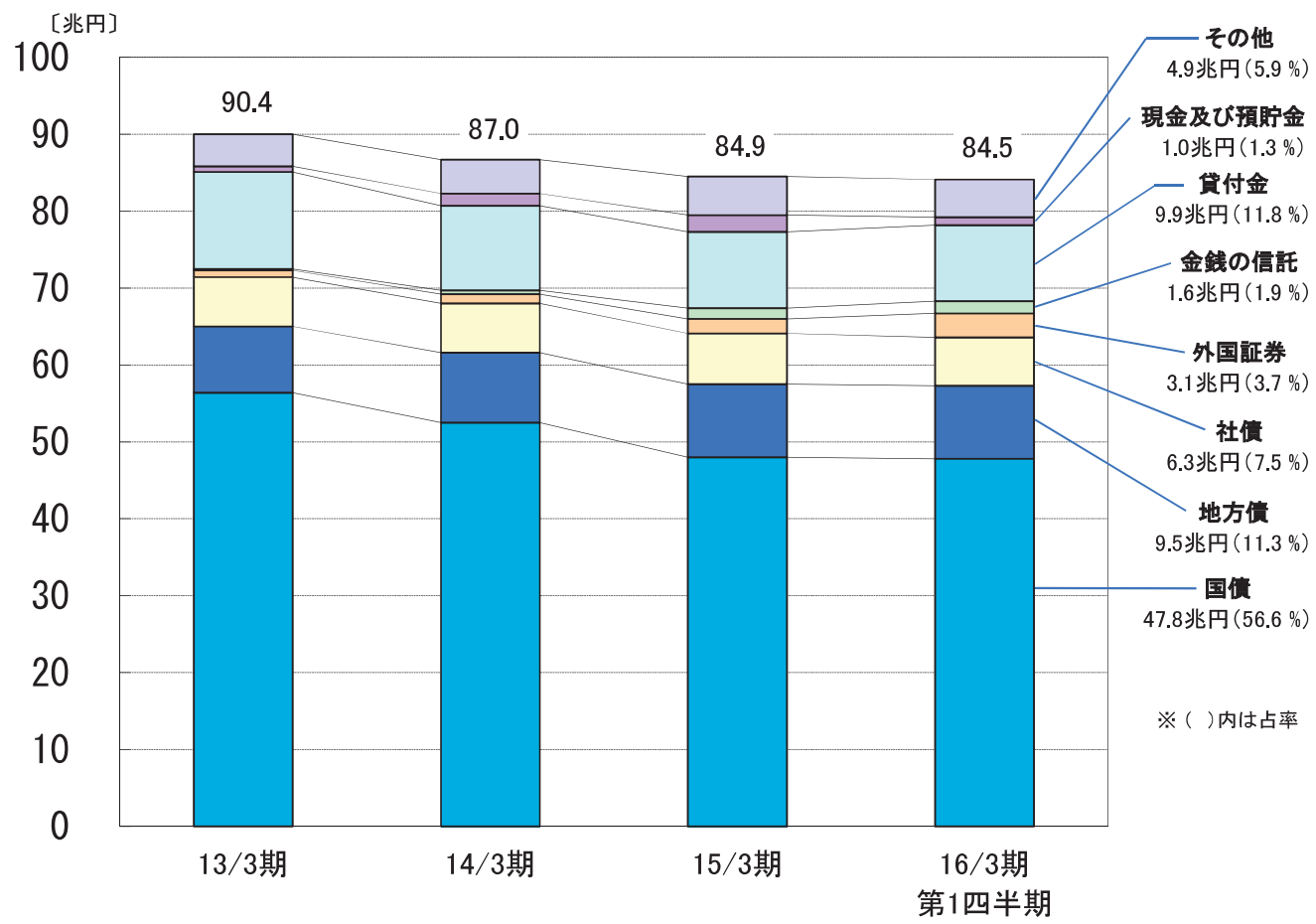
注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金 74兆3,597億円、支払備金 6,949億円、契約者配当準備金 2兆474億円です。

注3 株主配当金 245億円を支払い、四半期純利益 232億円を計上した結果、12億円の減少となりました。

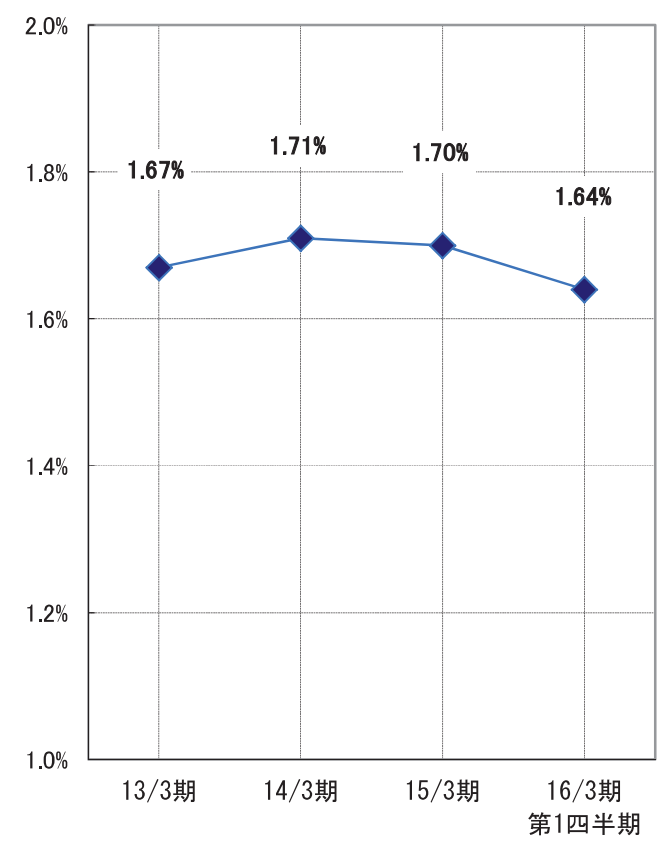
# 4 資産運用の状況①

■ 資産運用は、国債を中心とした有価証券が66兆円、貸付金が9兆円等

## < 資産構成の推移 >



## < 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

## 4 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、6兆854億円
- その他有価証券の含み益は、8,081億円（税効果適用後は5,771億円）

### < 含み損益の状況 >

	2016/3期 第1四半期		2015/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合計	68兆8,423億円	6兆854億円	68兆6,735億円	6兆4,940億円
満期保有目的の債券	43兆6,665億円	4兆1,814億円	43兆6,955億円	4兆5,371億円
責任準備金対応債券	15兆4,886億円	1兆958億円	15兆4,932億円	1兆1,752億円
その他有価証券	9兆6,872億円	8,081億円	9兆4,847億円	7,817億円
うち 金銭の信託	1兆2,027億円	4,126億円	1兆797億円	3,552億円

※ その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、5,771億円(2016/3期 第1四半期)、5,580億円(2015/3期 期末)です。

### < 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2016/3期 第1四半期	14,200円
2015/3期 期末	13,700円
2014/3期 期末	12,000円
2013/3期 期末	9,800円

※ 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準は、決算期末日に保有する株式の時価が日経平均に連動して変化するものとして算出しています(100円未満を切り捨てています)。

### < 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2015年6月末	20,235円	122.45円	137.23円	0.455%
2015年3月末	19,206円	120.17円	130.32円	0.400%
2014年3月末	14,827円	102.92円	141.65円	0.640%
2013年3月末	12,397円	94.05円	120.73円	0.560%

※ データ提供元：©日本経済新聞社、野村総合研究所、Bloomberg



## 5 基礎利益の状況

■ 基礎利益は1,130億円

### < 基礎利益の内訳（三利源） >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	増減	2015/3期
基礎利益	1,130 億円	1,322 億円	△ 192 億円	5,154 億円
危険差益	796 億円	905 億円	△ 109 億円	3,420 億円
費差益	204 億円	322 億円	△ 118 億円	1,063 億円
利差益	129 億円	94 億円	35 億円	669 億円

※ 基礎利益は、経常利益から有価証券の売却損益等の「キャピタル損益」と危険準備金の繰入・戻入等の「臨時損益」を控除したものです。また、基礎利益の内訳は内部管理上算定しているもので、「危険差益」は予定死亡率と実際の死亡率との差等から生じる利益（法令により積み立てるべき標準責任準備金の積増額を含みます。）、「費差益」は予定事業費と実際の事業費との差等による利益、「利差益」は実際の運用利回り（利子利回り）が平均予定利率を上回ることにより生じる利益です。

### <（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	増減	2015/3期
平均予定利率	1.78 %	1.82 %	△ 0.04 %	1.80 %
利子利回り	1.85 %	1.87 %	△ 0.02 %	1.89 %

※1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）× 1 / 2

※2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

## 6 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆4,683億円及び価格変動準備金7,313億円を合わせた3兆1,997億円
- 追加責任準備金は、6兆524億円

### < 内部留保の積立状況 >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末
危険準備金	2兆4,683億円	2兆4,987億円
価格変動準備金	7,313億円	7,121億円
内部留保合計	3兆1,997億円	3兆2,108億円

### < 追加責任準備金の積立状況 >

	2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末
	6兆524億円	6兆670億円

※ 追加責任準備金には、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構からの受再保険の終身年金等を対象に、2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとした金額（2016/3期 第1四半期積立額 446億円、累計 8,951億円）を含みます。

### < ソルベンシー・マージン比率 >

2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末
1,591.2 %	1,641.4 %

※ ソルベンシー・マージン比率の2016/3期 第1四半期の値は、法令等の規定に準じて算出しております。

### < 実質純資産額 >

2016/3期 第1四半期	2015/3期 期末
11兆1,064億円	11兆5,122億円

※ 実質純資産額は、有価証券の含み損益等を反映し時価評価した資産の額から、危険準備金や価格変動準備金等を除いた負債の額を差し引いたものです。